

# 『ウルフ研究』書式ガイド

(2016年刊 *MLA Handbook* 第8版による)

書式について間違えやすい箇所を集めました。論文作成の参考にしてください。

## A. 引用に関する要点

### 【Punctuation】

- 1) 引用符とカンマ ⇒カンマは引用符の**中に**収める。

例) “The house is **ours,**” she wrote down in her diary, ...

- 2) 注の数字の入れ方(句読点の前か後か?)。 ⇒**後**に。

例) 執筆上演した。**1**1922年に～、

例) Technological ... problems.**2**

例) 試みてきたが、**3**たとえその試みが成功したとしても、

- ※ 第8版には注の形式について規定がありませんが、上付き4分の1の数字を付して、脚注ではなく後注として本文の後に注をまとめてください。後注の書き始めは、半角数字とピリオドと全角の空きの後に、文言を入れてください。

例)

1. 坪内逍遙『熱海ページェント』大正14年(1925)『わがページェント劇』に収録されていることから実際の上演はそれ以前であろうと思われる。
2. For a sampling of ... and Aiston.
3. たとえば Scott をみよ。

### 【Documentation】

- 1) 句読点や引用符との位置関係。

本文中の引用

- i. (引証資料情報)は**句読点の前に**置く。

例) 無視しないとするなら (高井 60)、いまさら、狭義の階級的差異によってのみウルフのエッセイ・テキストとその様々なサブテキストを読むことで、すますわけにもいかない(Hynes 35-36)。

- ii. 引用符がある場合は、**引用符の後に**(引証資料情報)を置く。句読点はその後。

(本来引用文に「～のだ。」 “～!” というような句読点があっても、そこにはつけない。ただし!や?は省略しない。)

例) 「われわれは～によって生きているというのだ」(JR 155)。

例) Clarissa feels the air “cool as a vault” (31) and the death image ...

例) "... For interruptions there will always be" (*Room 78*).

• "... What a plunge!" (3).

※ ウルフの作品の略号に協会として定めた慣例はありません。また、引用する著者、著作が前後関係で明らかな場合は、数字のみを示します。

※ (引証資料情報) として、二つ以上の頁数を示す場合、頁数はカンマで区切る。

例) 「シェイクスピアの妹」 (*AROO* 48, 53, 108)

例) Brian Taves suggests some interesting conclusions regarding the philosophy and politics of the adventure film (153-54, 171).

### iii. block quotation (longer quotation) の場合

引用文の後で、かつ句読点の後に、引証資料情報を置く。

例) ~~~~~  
~~~~~ 友だちなどではない。(近藤 130)

2) 複数巻の書物を引用する場合、その巻数の書き方:

(タイトルの省略形斜字体 巻数[半角] : [コロン] 頁数) それぞれの後に半角の空き

例) ウルフのエッセイ集の第3巻 501頁 ⇒ (*E* 3: 501)

例) ウルフの日記第2巻の 282-83頁 ⇒ (*D* 2: 282-83)

例) 手紙第1巻の 286頁の引用の場合。 ⇒ (*L* 1: 286)

※ 前後からエッセイ集、日記、手紙からの引用であることが分かる場合は、タイトルの省略形を省略し、巻数のみ数字で示します。論文中に、一つの巻からしか引用しない場合、括弧内には巻数の表記も不要です。*MLA* 第8版の 119-20を参照のこと。

3) 同一著者の複数の書物に言及する場合: (著者姓『タイトル』\_\_頁数)

例) 山田花子氏の『ウルフのモダニズムに関する3つのエッセイ』(2000年)と『ジョイス』(1999年)の2つの著作に言及する場合。 ⇒ (山田『ジョイス』36) (山田『ウルフ』40)

同様に (*Frye, Vision* 85) ※省略の仕方の詳細は*MLA*第8版117-18を参照のこと。

4) 新聞や雑誌の表記:

新聞 ⇒ *New York Times*, 3 Apr. 1998.

新聞の頁数を示す場合 ⇒ *New York Times*, 3 Apr. 1998, p. 11. (新聞 11頁)

一般雑誌 ⇒ *Newsweek*, 7 Mar. 1994, pp. 26-27. (1994年3月号7日号、26-27頁)

専門雑誌(巻) ⇒ *Partisan Review*, vol. 57, 1990, pp. 493-94. (1990年、57巻、493-94頁)

専門雑誌(巻、号) *The Drama Review*, vol. 31, no. 4, 1988, pp. 40-41. (1988年31巻

## B. 引証資料、参考文献の書式について (英語)

1) **基本書式**： 著者姓, 名. タイトル. 出版社, 出版年.

例) Levenback, Karen. *Virginia Woolf and the Great War*. Syracuse UP, 1999.

※ 出版地は1900年以降の著作には原則として表示しません。詳細は *MLA* 第8版 51を参照。

※ ミドルネームなどイニシアルが文末にある場合、イニシアルのピリオドは文末のピリオドを兼ねる。

※ 「出版社, 出版年」⇒以下「出版情報」とする。

例) Booth, Howard J. *Modernism and Empire*. Manchester UP, 2000.

2) **共著** (複数の著者) による書物： 著者姓, 名, **and** 共著者名前 姓. タイトル. 出版情報. (※ 最初の著者の後はカンマして **and** をつける)

例) Richardson, Angelique, **and** Chris Willis. *The New Woman in Fiction and in Fact*. Palgrave, 2001.

3) **編者** による書物： 編者姓, 名, **editor**. タイトル. 出版情報.

例) Scott, Bonnie Kime, **editor**. *The Gender of Modernism: A Critical Anthology*. Indiana UP, 1990.

※ **共編** (複数の編者) による書物： 編者姓, 名, **and** 共編者名前 姓, **editors**. タイトル. 出版情報.

例) Grewal, Inderpal, **and** Caren Kaplan, **editors**. *Scattered Hegemonies: Postmodernity and Transnational Feminist Practices*. U of Minnesota P, 1994.

4) **著書の他に編者** がいる場合： 著者姓, 名. タイトル. **Edited by** 編者, 出版情報.

例) Woolf, Virginia. *Three Guineas*. 1938. **Edited by** Naomi Black, Blackwell, 2001.  
---. *The Letters of Virginia Woolf: Volume One 1888-1912*. **Edited by** Nigel Nicolson and Joanne Trautmann. Chatto & Windus, 1980.

5) **短編集、エッセイ集**などでその一つの作品を資料として挙げる場合： 著者姓, 名. “短編集、エッセイのタイトル.” 著書のタイトル, 出版情報, 頁数.

例) Woolf, Virginia. “How Should One Read a Book?” *The Common Reader: Second Series*, Harcourt, 1932, pp. 234-45.

- 6) 論文のアンソロジーの場合：論文の執筆者。 “論文タイトル。” 本のタイトル。 **edited by** 本の編者名， 出版情報， 頁数。 **edited by** の e は小文字になります。
- 例) Smith-Rosenberg, Carroll. “Discourses of Sexuality and Subjectivity: The New Woman, 1870-1936.” *Hidden from History: Reclaiming the Gay and Lesbian Past*, **edited by** Martin Duberman, et al., Penguin, 1990, pp. 264-80.
- 7) 複数の著者によるアンソロジーのうちの一つの作品を資料として挙げる場合：著者姓， 名。 “作品のタイトル。” アンソロジーのタイトル， **by** 著者 or 共著者， 出版情報， 頁数。
- 例) Jameson, Fredric. “Modernism and Imperialism.” *Nationalism, Colonialism, and Literature*, **by** Terry Eagleton, et al., U of Minnesota P, 1990, **pp. 43-66**.
- 8) インターネットからとった資料：情報の最後にサイトの URL、または DOI を掲載。恒久的である DOI を掲載する方が望ましい。詳細は 48, 110 を参照のこと。
- 例) Chan, Evans. “Postmodernism and Hong Kong Cinema.” *Postmodern Culture*, vol. 10, no. 3, May 2000. *Project Muse*, doi:10.1353/pmc.2000.0021.
- 例) Deresiewicz, William. “The Death of the Artist--and the Birth of the Creative Entrepreneur.” *The Atlantic*, 28 Dec. 2014, [www.theatlantic.com/magazine/archive/2015/01/the-death-of-the-artist-and-the-birth-of-the-creative-entrepreneur/383497/](http://www.theatlantic.com/magazine/archive/2015/01/the-death-of-the-artist-and-the-birth-of-the-creative-entrepreneur/383497/).
- 9) 初版の年を入れる場合：タイトル。 初版の年号 **ピリオド** 出版情報。
- 例) ---. *The Years*. 1937. Hogarth, 1990. (カンマ、コロンではない)
- 10) 全体の巻数を記載する場合：出版情報 **ピリオド** 巻数。
- 例) ---. *The Diary of Virginia Woolf*. Edited by Anne Oliver Bell, Harcourt, 1977- 84. **5 vols.**
- ※ただし、特定の巻のみ記載する場合：出版社名の前。タイトルに巻数が含まれていると見なす方が便利な場合そのままタイトルに (第 8 版にその規定はありませんが)。詳細は *MLA* 第 8 版 36, 39 を参照のこと。
- 例) Howells, W. D. *Their Wedding Journey*. Edited by John K. Reeves, 1968. *A Selected Edition of W. D. Howells*, general editor, Edwin H. Cady, **vol. 5**, Indiana UP, 1968-83.
- 例) ---. *The Letters of Virginia Woolf*: **Volume One 1888-1912**. Edited by Nigel Nicolson and Joanne Trautmann. Chatto & Windus, 1980.

1 1) 版の記載：編者がいる場合は、その後に。ed の後の省略記号のピリオド、区切りのカンマを忘れずに。

例) Chaucer, Geoffrey. *The Works of Geoffrey Chaucer*. Edited by F. W. Robinson, 2nd ed., Houghton, 1957.

1 2) タイトルの中のタイトルはローマン体（イタリックではない普通の直立字体）とする。

例) Kelley, Alice van Buren. *To the Lighthouse: The Marriage of Life and Art*. Twayne Publishers, 1987.

## C. 引証資料、参考文献の書式について（日本語）

1) 基本書式：著者名『書名』出版社、出版年。（句読点、その有無に留意）

例) 柄谷行人『定本〜』岩波書店、2004年。

※書籍の中の論文の頁数を示す場合⇒ 著者名「論文名」『書名』編者名、出版社、出版年、頁数。

例) 川本格子「ジンメル的女性論——もうひとつの生のあり方」『ジンメル社会学を学ぶ人のために』早川洋行・菅野仁編、社会思想社、2008年、153-71頁。

2) 翻訳基本書式：著者姓、名『書名』訳者、出版社、出版年。

例) ブルデュール、ピエール『ディスタンクシオン』石井洋二郎訳、藤原書店、1990年。

※共訳者がいる場合⇒ナカグロで結ぶ。

例) 白井厚・白井暁子訳

※オリジナルと翻訳の両方を記載する場合⇒オリジナルの文献に続けて日本語文献を以下の順序で記載する。

オリジナル文献、『翻訳タイトル』訳者名、出版社、出版年。

例) Hoggart, Richard. *The Uses of Literacy*. Transaction Publishers, 1998. 『読み書き能力の効用』香内三郎訳、晶文社、1974年。

3) 雑誌論文の書式

著者氏名「論文タイトル」『雑誌タイトル』巻、号、出版年、頁数。

例) 山田太郎『グローバリゼーション』『ヴァージニア・ウルフ研究』第22号、2005年、42-55頁。

## D. その他の留意事項

### 1) タイトル、サブタイトル

a) 英語：メイン・タイトルとサブタイトルの間は「:」で区切る。

例) Virginia Woolf: Our Contemporary

b) 日本語：メイン・タイトルとサブタイトルの間は「—」で区切る。タイトルの終わりには「—」を入れない。

例) モダニズム的<文化>の(再)定義のための覚書—大戦間の有機体論的美学=政治学をめぐる

2) 引証資料における**欧文文献**と**日本語文献**は、混在させず、**グループ分け**して記載する。

英語文献の後に日本語文献の順。日本語文献は著者の「あいうえお順」で。

ただし、オリジナルと翻訳の両方を記載する場合のみは一緒に。⇒C. 2) 翻訳基本書式参照

3) **数字**について：**半角**使用。

英文、日本語文、どちらも数字の表記は半角で。